BOOKS

まっさらな明日への讃歌

松井みさき、安藤準・共著

Synthesis INCARNATE:・刊

写真家の松井みさきと、琴演奏家・作編曲家の安藤準。ともにニューヨークで活動する若手アーティストふたりがコラボレーションした『ホワイト・ストーリー』。この瀟洒（しょうしゃ）な白い一冊は、安藤が立ち上げたレーベル「シンテーシス・インカーネイト」から発売された複合メディアアートプロジェクト第1弾、音楽CD付き写真集だ。

広がりと深みのある安藤の新曲9曲と、一曲一曲に合わせた透明感あふれる松井の写真と一言ポエム（英語と日本語併記）が、心地良く五感に響き、ページをめくり音楽に耳を傾けるとき、何とも言えない穏やかさに満たされ、元気が湧いてくる。

たとえば3曲目の「海」。どこの海だろうか、波が残していった砂の線と波のしぶき、地平線、空に浮かぶ白い雲が美しく平行線を描く松井の写真がある。波音に琴の音色とパーカッションが重なる安藤の音楽が重なるとき、いつしか自分の遠い記憶が甦る。そして添えられた一言は「洗い流してみるといい」。

『白』の持つ、純粋、自由、無制限、初期化、再生といったイメージ、『白に戻る＝原点に立ち返る』というコンセプトで制作した」と松井は説明する。手にした人の明日にエールを贈る「まっさらなダイアリー」だ。

安藤は「ひとつのコンセプトやストーリーに対し、異媒体もしくは異なった活動を行う作家が多角的なアプローチをすることで従来の制作過程では得られないストーリーの臨場感と視聴者の想像の広がりを創出できる」と、プロジェクトの意図を説明する。そして、「和・洋、現・古という要素のフュージョンを新たな観点で試みた。琴を主体としたアンビエント（環境音楽）の雰囲気を持つ音楽は『希望のない瞬間はない』をモットーとして活動する松井さんの作品とともに新たなストーリーを綴ってゆく肯定的な意思を想起させる作品となった」と話す。

ジョン・レノン・ソングライティング・コンテストでファイナリストに残った気鋭の安藤と、日米両国での活動が広がる松井の意欲的なコラボレーション作品はアマゾン（amazon.com）で購入可能。iTuneでも近日配信予定。松井と安藤はコラボレーション第2弾も発表したばかり。本書の「海」より音楽と映像で「ホワイト・シー」を制作した。

鑑賞はwww.vimeo.com/misakimatsui/whitesea から。

（小味かおる、写真・松井みさき）

▽松井みさきのウェブサイト：www.misakimatsui.com

▽安藤準のウェブサイト：www.jtandros.com

絵本

幸せな気分にさせない絵本

ぼくからみると

文：高木仁三郎　絵：片山健

福音館書店

最近の絵本は、幸せな気分にさせるとか感動させるとか、そんなのばっかりですよね。絵本全体と物の目から見たシーンを描き出します。だからタイトルが『ぼくからみると』なんですね。

その残酷な一面がお気に召さなかったのか、この本はすでに絶版。でも古本で手に入ると思います。たまにはこういう本もぜひ。（竹永浩之）

今回取り上げた『ぼくからみると』は、その流れに逆らってる絵本です。タイトルはなんとなく可愛らしいですが、現実の残酷な一面も描写されています。内容は「なつやすみのあるひ。ひるすぎ　ひょうたんいけ」を舞台にさまざまな生きものの目から見たシーンを描き出します。だからタイトルが『ぼくからみると』なんですね。

悪いと私は思うのですが、時代はそちらの方向に驀進してるようです。

■ 新刊紹介 ■

■コラプティオ　（真山仁、文春文庫）震災後の日本に現れたカリスマ総理、宮藤隼人は、「禁断の原発政策」に日本復興を託すが、その矢先、一人の日本人がアフリカで殺される。事件の背景に広がる政権の闇を追いかける新聞記者神林裕太と、宮藤を支える若き側近・内閣調査官の白石望は暗闇の末、最後に何を見るのか。3人の運命が交錯するとき日本の命運は反転する。「コラプティオ」とはラテン語で汚職、腐敗の意味。大きな反響を呼んだドラマ「ハゲタカ」の原作者による骨太サスペンス。■問いのない答え　（長嶋有、文藝春秋）震災発生の3日後、小説家のムネオはツイッター上で言葉遊びを始めた。「それはなんでしょう」一部だけに明らかにされた質問文に出題の全容が分からないまま無理矢理解答する遊びだ。言葉遊びに興じながら、彼らはさまざまな1年を過ごす。それぞれの場所で緩やかに交流する人々の切実な生を描く2002年芥川賞受賞作家の4年ぶりの長編群像劇。■舞台　（西加奈子、講談社）29歳の葉太は、ある目的のためニューヨークを訪れる。初めての一人旅、初めての海外だったが、滞在初日に盗難に遭い、無一文に。虚栄心と羞恥心に縛られた葉太は助けを求めることすらできないままマンハッタンを彷徨う羽目に。自意識過剰な青年の馬鹿馬鹿しくも切ない魂のドラマ。思い切り笑い、最後にはきっと泣いてしまう傑作長編。ところどころにニューヨークの豆知識も掲載されていておもしろい。■阿川佐和子のこの人に会いたい9　（阿川佐和子、文春文庫）「週刊文春」の看板対談「阿川佐和子のこの人に会いたい」の傑作選の第9弾。連載は1000回を超える。糸井重里、上原ひろみ、稲盛和夫、是枝裕和、三浦友和、やなせたかし、内田裕也、松本允秀（福島県双葉郡葛尾村村長）ほか、2011年から12年の掲載から24編を収録。意外な素顔や本音に迫りつつ、震災についても語り合った。アガワの聞く力が本領発揮、笑いと涙を温かさで包む、元気が湧く一冊。■図ですぐわかる！日本100大企業の系譜　（菊地浩之、KADOKAWA）「三菱東京UFJ」って、いったい何と何が合併すると、こんな長い名前になるの？ 読売新聞が読売巨人びいきなのは分かるけど、日本テレビの巨人びいきはなぜ？ 最近やたらと「なんとかホールディングス」っていう社名を聞くけど、それって何？ こうした疑問に答えながら、現代日本を代表する企業100社の来歴や系列、社風について解説。それぞれの大企業が抱える歴史や特性が分かれば、日本経済の生々しい動きが見えてくる。■定年後も、まず動く！すると何かが始まる　（多湖輝、新講社ワイド新書）いよいよ定年退職。一区切りつけた後の人生を楽しむ力、「定年力」を提案。自由人になった今、封印してきた「人生を楽しむ力」の紐を解こう。どうやって定年力を見つけ出していくかを、具体的な例を挙げて考える。あと30年、楽しみな人生が待っている。楽しみたいだけ楽しめばいい。これまでの前半戦の人生は、後半戦の人生を楽しむためのプロローグに過ぎなかったと思えるような生き方をしたい。（小林正恵）

■書籍データ／資料提供・紀伊國屋書店ＮＹ本店

真山仁が描く原発と政治のエンターテインメント。芥川賞作家4年ぶりの長篇群像劇。初めてのニューヨーク一人旅で無一文に…。連載1000回を超える阿川佐和子の対談。日本企業に対する素朴な疑問を解決。定年後の30年をどう生きるか？

フォートリーエリアの
カイロプラクティックセンター

Dr. 石谷三佳
カイロプラクター
パーマーカイロプラクティック大学卒業
ハーバード大学医学部専門課程修了

❖これらの痛みでお悩みの方❖
❖腰痛　❖肩の痛み　❖筋肉痛　❖椎間板治療
❖頭痛　❖腕／足の痛み　❖労働障害　❖車両事故の後遺症
❖首の痛み　❖しびれ　❖スポーツ障害　❖お尻や腰関節の痛み

是非当院へ一度お越し下さい!
各種保険取り扱いしております。(Let me help you !)
初回の背骨の検診は無料です。
初回背骨検診には背骨のゆがみを検査し、背骨の動く範囲を細かく測ります。それにより、動きすぎや動いていない関節やその周りの組織の炎症を調べます。また、背骨のズレによって起こる背骨を支える筋肉や腱のバランス検査、全身のバランス検査も含まれています。コンサルテーションはドクターとプライベートにゆっくりとお話しすることができます。これらは全て無料で行います。

石谷先生は2008年のベスト・
カイロプラクターとして表彰されました。

Call: (201) 302-9993
新住所: 1495 Palisade Ave, Fort Lee, NJ
※連邦法によりMedicare及びMedicaid保険の方には適応されない場合もあります。

Kenichi Nakajima "Feet Project No.2," 2013
Acrylic on Cardboard Sculpture

中島健一: 足をテーマに立体と平面の個展
風月舎画廊企画グループ展覧会
Kenichi Nakajima "FROM FEET TO ART"
Japanese Contemporary Artists #5
2月6日～19日 / レセプション: 2月6日 (木) 5 - 7:30PM
開廊時間: 火曜日～金曜日12:30 - 6:30pm ／ 土曜日1:00 - 5:00pm
NYCoo Gallery　風月舎
1133 Broadway #335 NYC 10010 (26th St.)
Tel: 212-380-1149 /www.nycoo.com
★ TOPPI(突飛)NYC: Sumi Nakazato によるビーズネックレスは、ムラノシリーズ ★

紙面をまるごとウェブで読める！
「週刊ＮＹ生活デジタル版」
掲載されたお子さまの作文を、日本のご家族に読んでいただくのに最適です。
プリントも可能でとても便利です！！
www.nyseikatsu.com